

【1】文型

1. 品詞と文型

| | |
|------|----------------|
| 名詞 | : S / O / C |
| 形容詞 | : C / M(名詞を修飾) |
| 副詞 | : M(名詞以外を修飾) |
| 前置詞句 | : M |

2. SVC と SVO の判別方法

| | |
|--------|----------------------|
| SV+形容詞 | : SVC |
| SV+名詞 | : SVC (動詞が自動詞 / S=C) |
| SV+名詞 | : SVO (動詞が他動詞 / S≠O) |

3. there 構文

there 構文は2つのことを示す記号である。

1. 第一文型
2. 倒置

4. oneself の 2 つの用法

1. S=O
2. 強調

5. 動詞の意味と文型の関係

動詞の意味は文型によって決まる。

6. make を見たら、SVOC を疑う

make に限らず、第5文型を取る動詞を見たら。

7. 主語より前は全体で、副詞

【2】準動詞

1. 表

| | to | ing | p.p. | 意味 |
|-----|----|------|------|------------|
| 名詞 | ○ | 動名詞 | × | ～すること |
| 形容詞 | ○ | 現在分詞 | 過去分詞 | 前の名詞にかかるだけ |
| 副詞 | ○ | 分詞構文 | 分詞構文 | いろいろ |

2. 不定詞の副詞用法の訳

目的 / 条件 / 感情の原因 / 判断の根拠 / 結果 / 程度 / 形容詞の意味の限定 / 独立不定詞

※結果(wake up / grow up / live / only / never to ~など。)

程度(too ~ to … / ~ enough to … / so ~ as to …)

3. 分詞構文の訳(条件/譲歩/付帯状況/時/理由)

原則：適当に訳す。「て」「で」

例外：文末にあるとき

↓

「そして～」「～しながら」

4~6. 意味上の主語

原則：書く

for 人 to ~
所有格(目的格) 動名詞
主格 分詞構文
かかる名詞 分詞

例外：書かない

- (1) 意味上の主語=文全体の主語
- (2) 意味上の主語=一般の人

7. 準動詞の形容詞用法 vs 副詞用法

意味上の主語が前にかかる名詞→形容詞用法

意味上の主語が全体の主語→分詞構文

8. 不定詞の形容詞用法 3 パターン

- 1.SV の関係
- 2.VO の関係(※O が欠けている)
- 3.同格の関係

9. 付帯状況の with

with OC(C : 現在分詞/過去分詞/形容詞/前置詞句/副詞)

「そして～」「～しながら」

10. 準動詞の時制

原則：主節の時制に従う

例外：完了形⇒主節の時制よりひとつ過去

11. 疑問詞 to 不定詞

品詞：名詞句

訳：何を～すべきか (what to do)

【3】節

1. うしろ完全, 不完全

うしろ不完文 : who , whom , which , that , what

うしろ完全文

- 1.whose (うしろ裸の名詞,所有関係)
- 2.前置詞+関係代名詞 (※that は不可)
- 3.関係副詞 (the way +how は不可)

2. 動詞の数と接続詞・関係詞の数の関係

動詞の数－1 = 接続詞・関係詞の数

3. 接続詞, 関係詞の数が合わないときは…

- 1.接続詞 that / 関係詞の省略
- 2.意外な接続詞

4. 意外な接続詞

5. 前置詞 対 接続詞

| | 前置詞 | 接続詞 |
|----------|---------------------------------------------|-------------------|
| ～の間 | during | while |
| ～までには | by | by the time |
| ～にもかかわらず | despite , in spite of for all , with all | though , although |

※前置詞と接続詞の両方を持つ

till , until , before , after , since , as

6. that 節の分類

完全文:接続詞

SOC:名詞節「～ということ」

その他

名詞(思考・事実・発言) + that: 同格「～という」

副詞節

so～that…

so that～

感情の原因

不完全文:関係代名詞:形容詞節「前の名詞にかけるだけ」

7. 接続詞の as の 5 つの意味

時

理由

比例

様態

譲歩

8. 非限定用法(継続用法)

,which=and(but/for) it

9. 前置詞+関係代名詞

前置詞消してフツーの関係代名詞

10. 前置詞+関係代名詞+to 不定詞

=to 不定詞の形容詞用法

11. so～that…の必殺技

| | |
|--------------------|-------------------------------|
| 離れている | くっついている |
| so ~ that… | so that~ |
| so ~ as to… | so as to~ |
| such ~ that… | in order to in order that~ |
| とても～なので… …するほど～ | ～するため |
| ～に否定語→…するほど～ | , so that: その結果～ |

12. how の訳し方

how+形容詞/副詞+SV :「どれほど～」
how+SV :「どのように～」

13. 接続詞残しの分詞構文

接続詞+ing/p.p

14. so の 2 つの訳し方

- 1.「その結果～」
- 2.「～するため」(that の省略)[助動詞が含まれることが多い]

【4】助動詞と法

1. 助動詞の 2 つの意味

| | | |
|--------|------------|---------|
| must | ～しなければいけない | ～に違いない |
| can | ～できる | ありうる |
| may | ～してもよい | ～かもしれない |
| should | ～するべきだ | ～するはずだ |

2. 仮定法の目印

助動詞の過去形

3. 仮定法の訳し方

時制が一つ過去にズレる

4. 仮定法の if 省略

倒置(疑問文の語順)

5. If 節代用表現

- (1) 不定詞
- (2) otherwise
- (3) 主語の名詞
- (4) 副詞句
- (5) 名詞句 + and

6. would の 3 つの可能性

- ①特殊な意味(過去の動作の習慣/過去の強い意思/それほど強くない意思)
- ②時制の一致によるもの
- ③仮定法

7. used to の3つのパターン

- ①be used to ~ing: ~することに慣れている
- ②used to 原形: 以前は~だった
- ③be used to 原形: ~するために使われる

8. 訳さない should

- ①「意外」「当然」などの判断の内容を示す that 節
- ②「要求」「主張」「提案」の内容を示す that 節

9. 助動詞+have+p.p.

過去への「推量」と「後悔」をあらわす。

| | |
|------------------------|---------------------|
| may + have + p.p. | 「～したかもしれない」 |
| must + have + p.p. | 「～したに違いない」 |
| cannot + have + p.p. | 「～したはずがない」 |
| should + have + p.p. | 「～すべきだったのに」「～したはずだ」 |
| ought to + have + p.p. | 「～すべきだったのに」「～したはずだ」 |
| need not + have + p.p. | 「～する必要なかったのに」 |

【5】名詞・代名詞・冠詞・形容詞・副詞

1. 冠詞と名詞

- ・冠詞は名詞の始まりを表す記号。
- ・冠詞と名詞に挟まれた語句→名詞にかかる形容詞
- ・冠詞を見たら名詞を探しひとまとめ

2. 仮主語と強調構文

It is ~ that...

- | | |
|---------------------|--------|
| ①~が形容詞/過去分詞 | : 仮主語 |
| ②~が副詞 | : 強調構文 |
| ③~が名詞かつ that 以下が完全文 | : 仮主語 |
| ④~が名詞かつ that 以下が不完全 | : 強調構文 |

3. some の考え方

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ①数量がそれほど多くないことがはっきりしている | →「いくつかの」 |
| ②some で示す数(量)が多いとも少ないとも言えない | →「～もある」 |
| ③some ~ , others... | →「～もあれば…もある」 |
| ④some+普通名詞単数形 | →「ある～」 |
| ⑤some+数字 | →「およそ～」 |

4. 名詞と形容詞の位置関係

原則:長い形容詞 → 後ろから修飾

例外:短い形容詞 → 前から修飾

例外の例外:~thing を修飾する形容詞 → 短くても後ろから修飾
alive, asleep, awake など → 短くても後ろから修飾

5. few と little

| | 可算名詞 | 不可算名詞 |
|-------------|-------|----------|
| 肯定(少しの) | a few | a little |
| 否定(ほとんど~ない) | few | little |

6. 代名詞の主語は…

原則、前の主語

7. itを見たら…

- 1.代名詞
- 2.状況の it (天候/距離/時間/明暗)
- 3.仮主語・仮目的語/強調構文

【6】構文読解の鍵

1. 等位接続詞の前後

意味上文法上同類

2. 等位接続詞は2つの道

3. SV(思/言)の挿入

SV(思/言)を文頭に移して SV+that にする

4. 受動態を見たら…

能動態をイメージ(SをOに移動)

5. 過去形 vs 過去分詞(p.p.)

| | |
|-----------|-------|
| 自動詞 | →過去形 |
| 他動詞で目的語あり | →過去形 |
| 他動詞で目的語ない | →過去分詞 |

6. 強制倒置

文頭に否定の副詞→疑問文の語順。

7. 同形反復による省略

8. 部分否定

not + 強い形容詞・副詞 = 部分否定→「…というわけではない」

例外: not ~ any/at all/ in the least / either = 完全否定

9. 論理接続の副詞

どんなに文中にあっても文頭で訳す。

10. コロン(:)とセミコロン(;)

A:B 「A=B」/「B が引用」

A;B 「and/but/or/for」

【7】その他

1. no + 比較級 + than

No から矢印 2 つ。

2. do の 3 つの用法

1.一般動詞「～する」

2.助動詞「まさに」

3.代動詞

3. 他動詞とは？

「何を？」と突っ込める動詞。